

全国書店員が選んだ

いちばん!

売りたい本



2021年本屋大賞

全国書店員の投票で選ばれたベスト10

2019年12月〜2020年11月に刊行された日本人作家の小説の中で、書店員自身が自分で読んで、いちばんお勧めしたいと思った作品です。

大賞

『52ヘルツのクジラたち』

町田そのこ(中央公論新社)

2位

『お探し物は図書室まで』

青山美智子(ポプラ社)

3位

『犬がいた季節』

伊吹有喜(双葉社)

4位

『逆ソクラテス』

伊坂幸太郎(集英社)

5位

『自転しながら公転する』

山本文緒(新潮社)

6位

『八月の銀の雪』

伊与原新(新潮社)

7位

『滅びの前のシャングリラ』

凧良ゆう(中央公論新社)

8位

『オルタネート』

加藤シゲアキ(新潮社)

9位

『推し、燃ゆ』

宇佐見りん(河出書房新社)

10位

『この本を盗む者は』

深緑野分(KADOKAWA)

Supported by

NOLTY® PAGEM  
ノルティ ペイジェム

手帳ブランドNOLTY / PAGEMは本屋大賞に協賛し、応援しています。